デジタルビデオエディター

DVE793

取扱説明書

DIGITAL VIDEO EDITOR

DVE793

●このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

●お読みになったあとは大切に保管してください。

http://www.prospec.co.jp

目次

梱包内容／仕様

梱包内容

■ DVE793 本体 × 1

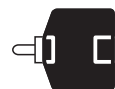
■ AC アダプター × 1

■ ピン端子ケーブル × 1

■ 音声分配アダプター × 2

※映像分配用としては使用できません。

■ 滑り止めシール

下図のようにDVE793本体底面に貼り付けてください。

■ 取扱説明書（本書）

■ ユーザー登録保証カード

本体仕様

■ 消費電力：3W 以下
■ 定格入力電圧：DC6V
■ 電源端子：AC アダプター用ジャック
■ 映像信号：NTSC（480i）
■ 映像入力：S 端子（金メッキ）× 1
／ピン端子× 1
■ 映像出力：S 端子（金メッキ）× 1
／ピン端子× 1
■ ボディーカラー：ピアノブラック
■ スイッチ部：クロームメッキ
■ 重　　量：150g
■ 本体材質：ABS 樹脂
■ 本体寸法：
W118mm × D98.4mm × H32.8mm

ACアダプター仕様

■ 入力：AC100V　50/60Hz
■ 出力：DC6V　600mA
■ プラグ：センターマイナス　+ -◐- −

ご使用になる前に（必ずお読みください）

安全のため必ずお守りください

表示の意味は次の通りです。

禁止	禁止を表します
注意	守らないと傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性があります
重要	使用する上で重要な事項を示します

禁止

●他人の著作物を無断で編集・録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集・録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので十分ご留意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。また、サポートも一切致しません。

●本製品底面に貼付されている**封印シールを剥がさない**でください。剥がすと保証期間に関わらず保証対象外となります。

注意

●必ず付属のACアダプターを使用してください。付属以外のACアダプターを使用すると、本体故障や性能悪化の原因となります。また、本製品はAC100V以外では絶対に使用しないでください。

●本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。また、消臭剤や殺虫剤などのスプレーや液体類を吹きかけないようご注意ください。故障や火災・感電・内部ショートの原因となります。

重要

●本製品で映像を合成することはできません。また、本製品に録画機能はありません。

●ダビングされたソフト・海賊版ソフト・すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能や明るさ調整機能などが正常に働かない場合があります。

●本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。

● VHSでの3倍録画やDVD・HDDでの低レート録画によって劣化した映像を本製品で補正することはできません。

●本製品は TV チューナーではありまません。

●取扱説明書（本書）に記載されている使用方法以外の使用は一切できません。

●本製品の画質補正能力を超えたビデオソースを編集すると、画質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。

●本製品は家庭用に設計されています。長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。

●水平解像度は映像の帯域を示します。解像度の低い映像はそのままの解像度で出力されます。

●本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。

●本製品はNTSC（480i）規格のビデオ信号に対応しています。

●検査・修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、検査・修理・その他の費用は全て有料となります。

各部名称

本体正面

オートパワーランプ（10ページ）
オートパワー機能ON時に点灯

スチルモードランプ（9ページ）
特殊再生中に点灯または点滅

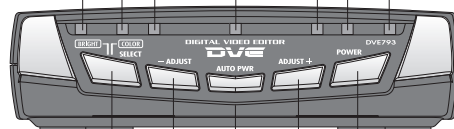
ワイド識別信号ランプ（12ページ）
ワイド識別信号の入出力状態に応じて点灯または消灯

色あい調整モードランプ（8ページ）
色あい調整モードを選択すると点灯

AGCランプ（11ページ）
AGC機能ON時に点灯

明るさ調整モードランプ（7ページ）
明るさ調整モードを選択すると点灯

パワーランプ（5 〜 6、10、14ページ）
電源ON時は緑、OFF時（ACアダプター接続時）は赤に点灯

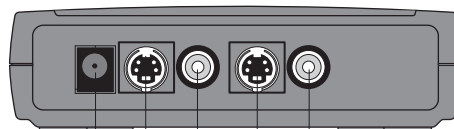
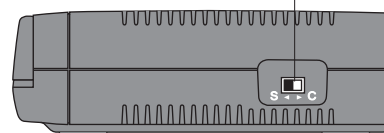
BRIGHT COLOR SELECT DIGITAL VIDEO EDITOR DVE DVE793 POWER − ADJUST AUTO PWR ADJUST +

セレクトスイッチ [SELECT]
明るさ調整モードと色あい調整モードを切り替える

パワースイッチ [POWER]
電源をON/OFF

＋（プラス）アジャストスイッチ [+ADJUST]
各種調整値をプラス方向へ調整

ー（マイナス）アジャストスイッチ [-ADJUST]
各種調整値をマイナス方向へ調整

オートパワースイッチ [AUTO POWER]
押すごとにオートパワー機能をON/OFF

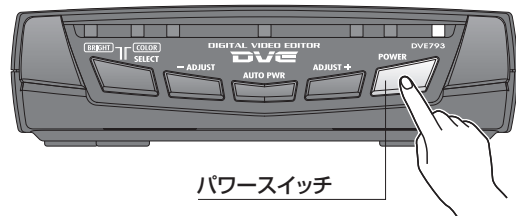
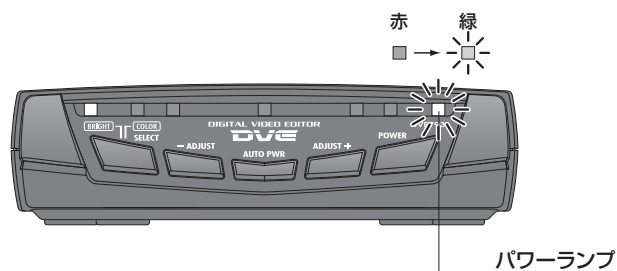
本体背面

本体横面

S/Cスイッチ（18ページ）
入力側の使用する端子によって切り替える

S ◂ ▸ C

⚠ 切り替えが正しくない場合、映像が出力されません。

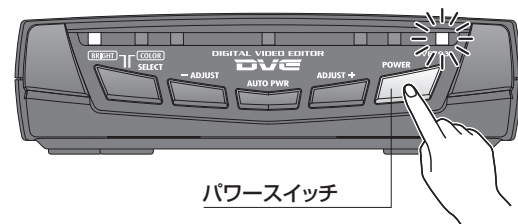
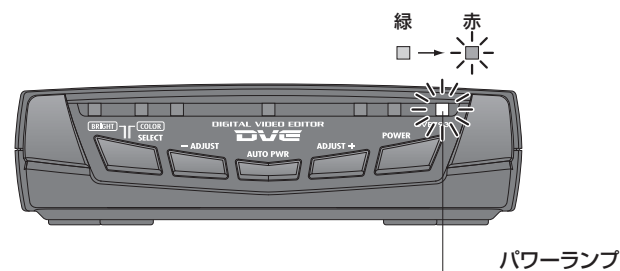
入力側にピン端子ケーブルを使用する場合はこのスイッチを『C』側に設定してください。S端子ケーブルを使用する場合は『S』側に設定してください。（工場出荷時は『C』側）

電源を入れる

1. POWER パワースイッチを押す。

2. パワーランプが赤から緑に変わり、電源が入る。

ONE POINT

- ACアダプターは事前に接続してください。
- 電源を入れると自動的に編集モードになります。
- 電源を入れた状態でACアダプターを外したり停電が起こったりすると電源が切れますが、再び本体が通電すれば自動的に電源が入ります（パワーガード機能）。

電源を切る

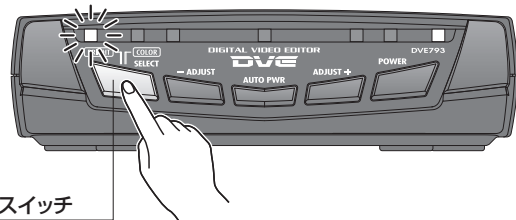
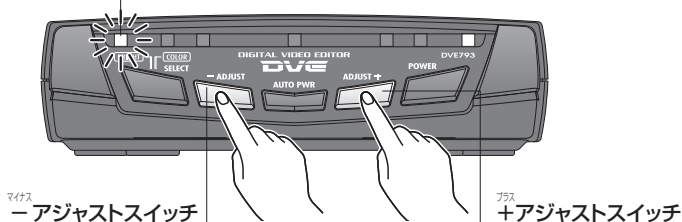
1. POWER パワースイッチを押す。

2. パワーランプが緑から赤に変わり、電源が切れる。

ONE POINT

- ACアダプターを接続した状態で電源を切ると、入力した映像を編集せずにそのまま出力します※。ACアダプターを外すと、映像を入力しても映像を出力することはできません。
- 電源OFF、ACアダプターを接続した状態は、パワーランプが赤く点灯します。

※入力側と出力側の端子が一致している場合のみ
入力側：ピン端子ケーブル → 出力側：ピン端子ケーブルのみ
入力側：S端子ケーブル → 出力側：S端子ケーブルのみ

明るさを調整する　～明るさ調整モード

1. パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

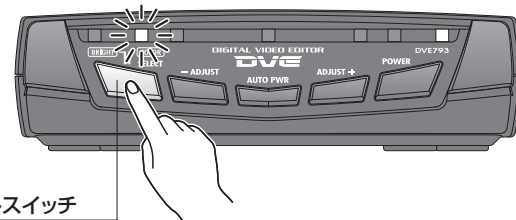
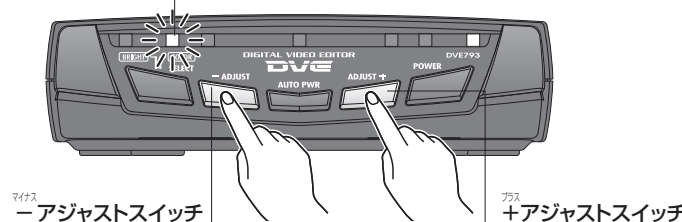
2. セレクトスイッチを押して明るさ調整モードに切り替える。（明るさ調整モードランプが点灯）

3. −アジャストスイッチを押すと暗方向（最大 5 段階）、＋アジャストスイッチを押すと明方向（最大 5 段階）に明るさが変化する。

映像の明るさ	−5	−4	−3	−2	−1	0	+1	+2	+3	+4	+5
ランプ色	赤	←──	──	緑	──→	緑点滅	←──	──	緑	──→	橙

ONE POINT

- ●明方向最大時、明るさ調整モードランプが橙に変わります。
- ●暗方向最大時、明るさ調整モードランプが赤に変わります。
- ●調整中に 0（調整していない状態）になると、明るさ調整モードランプが 2 回点滅します。（明るさ調整モードに切り替えた際も設定値が 0 の場合は点滅します）
- ●設定値は電源を切ったり ACアダプターを外しても記憶しています（メモリーガード機能）。

色あいを調整する　～色あい調整モード

1. パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

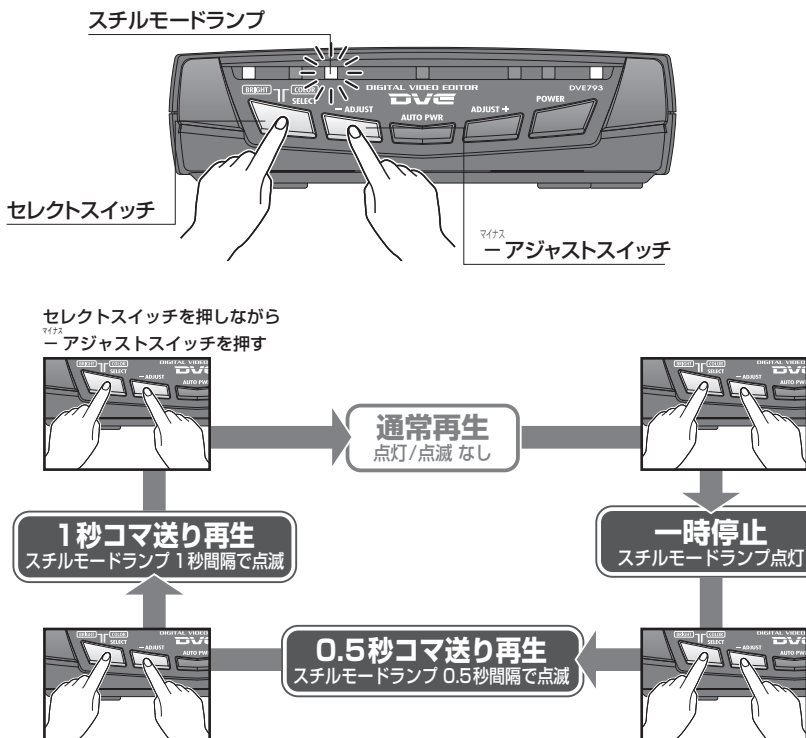
2. セレクトスイッチを押して色あい調整モードに切り替える。（色あい調整モードランプが点灯）

3. −アジャストスイッチを押すと赤方向（最大 5 段階）、＋アジャストスイッチを押すと緑方向（最大 5 段階）に色あいが変化する。

映像の色あい	赤 5	赤 4	赤 3	赤 2	赤 1	0	緑 1	緑 2	緑 3	緑 4	緑 5
ランプ色	赤	←──	──	緑	──→	緑点滅	←──	──	緑	──→	橙

ONE POINT

- ●緑方向最大時、色あい調整モードランプが橙に変わります。
- ●赤方向最大時、色あい調整モードランプが赤に変わります。
- ●調整中に 0（調整していない状態）になると、色あい調整モードランプが 2 回点滅します。（色あい調整モードに切り替えた際も設定値が 0 の場合は点滅します）
- ●設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています（メモリーガード機能）。
- ●白黒映像に対して色あい調整しても映像は変化しません。

スチル再生をおこなう　～スチル再生モード（映像の一時停止・0.5秒間隔コマ送り・1秒間隔コマ送り）

1. パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

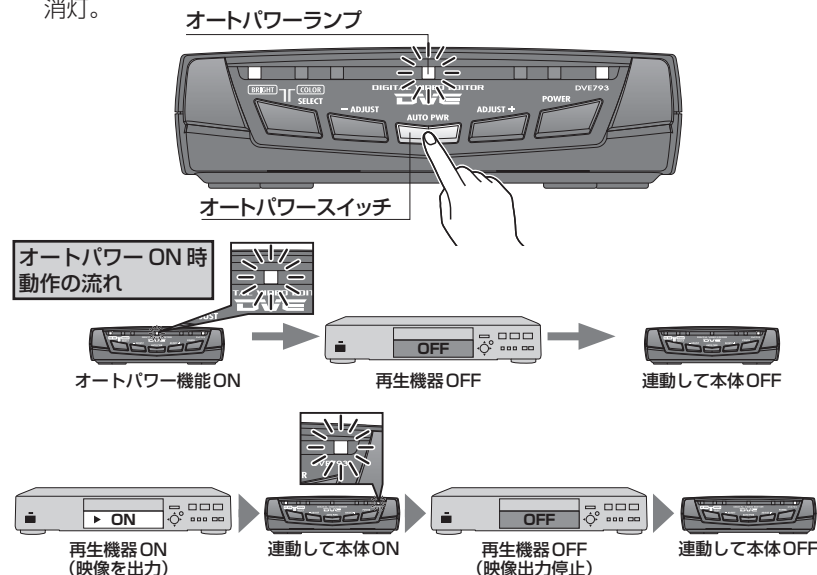
2. セレクトスイッチを押しながら－アジャストスイッチを押すごとにスチルモードランプが点灯／点滅し、スチル再生が切り替わる。

ONE POINT

- ●一時停止中またはコマ送り再生中に他のスイッチを操作すると、スチルモードは解除されます。
- ●一時停止中またはコマ送り再生中に電源を切ると、スチルモードは解除されます。

映像信号と連動して電源をON/OFFする　～オートパワー機能

あらかじめ電源を切っておき、映像が入力されると自動的に電源が入り、映像が入力されなくなると自動的に電源が切れる機能です。

1. パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

2. オートパワースイッチを押すごとにオートパワー機能のON ／ OFFが切り替わる。オートパワー機能ON時はオートパワーランプが点灯、OFF時は消灯。

ONE POINT

- ●ACアダプターは接続しておいてください。
- ●オートパワー機能をONにすると、電源を切ってもオートパワーランプが点灯したままになります。
- ●映像が入力されてから本機の動作が開始されるまでに約2秒かかります。
- ●オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力したままパワースイッチを押しても電源は切れません（オートパワー機能が働いているため）。
- ●設定状態は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています（メモリーガード機能）。

ご使用方法 - 応用編 -

映像を最適な明るさにする

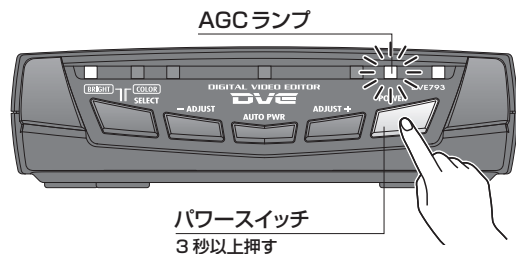
～ AGC 機能

入力された映像信号の輝度を最適値に自動調整して出力する機能です。

1. POWER パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

2. POWER パワースイッチを 3 秒以上押すごとにAGC機能のON ／ OFFが切り替わる。AGC機能ON時はAGCランプが点灯、OFF時は消灯。

ONE POINT

- ●この機能は基本的にVHSテープに保存された映像やアナログテレビ放送などのアナログ映像に対して有効です。DVDソフトや地上デジタル放送などのデジタル映像に対してこの機能を使用しても、ほとんど変化がありません。
- ●明るさ調整機能と併用しても問題ありません。
- ●設定状態は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています（メモリーガード機能）。

ワイド識別信号をコントロールする

～ワイド識別信号をコントロール機能

1. POWER パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

2. POWER パワースイッチを押しながら ADJUST ＋ ＋(プラス)アジャストスイッチを押すごとにワイド識別信号ランプが緑→橙→赤→緑の順に切り替わって点灯し、ワイド識別信号の出力方法が切り替わる。

オート出力時		出力	
		ピン端子ケーブル使用時	S端子ケーブル使用時
入力	ID-1（スクィーズ）	ID-1（スクィーズ）	S1&ID-1（スクィーズ）
	ID-1（レターボックス）	ID-1（レターボックス）	S2&ID-1（レターボックス）
	S1		S1&ID-1（スクィーズ）
	S2		S2&ID-1（レターボックス）
	S1&ID-1（スクィーズ）		S1&ID-1（スクィーズ）
	S2&ID-1（レターボックス）		S2&ID-1（レターボックス）

強制出力時		出力	
		ピン端子ケーブル使用時	S端子ケーブル使用時
入力	条件なし	ID-1（スクィーズ）	S1&ID-1（スクィーズ）

強制削除時		出力	
		ピン端子ケーブル使用時	S端子ケーブル使用時
入力	条件なし	なし	なし

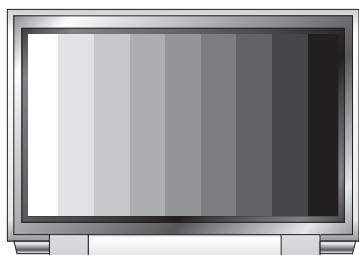
ONE POINT

- ●ワイド識別信号ランプは、ワイド識別信号が入力されていないと点灯しません（強制出力設定時を除く）。
- ●本機の電源を入れると、ワイド識別信号ランプの色で設定状況を表示しますが、ワイド識別信号が入力されていないと 2 秒後に消灯します（強制出力設定時を除く）。
- ●ワイド識別信号が入力されていない状態で設定を変更すると、設定した色でワイド識別信号ランプが 2 秒間点灯します（強制出力設定時を除く）。
- ●映像の縦横比率を変更して出力することはできません。
- ●設定状態は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています（メモリーガード機能）。

ご使用方法 - 応用編 -

カラーバーを出力する

1. パワースイッチを押して電源を入れる。（**5**ページをご参照ください）

2. オートパワースイッチを３秒以上押し続けると、カラーバー画像が出力される。

3. カラーバー画像出力中にオートパワースイッチを押すか、または電源を切るとカラーバー画像が出力されなくなる。

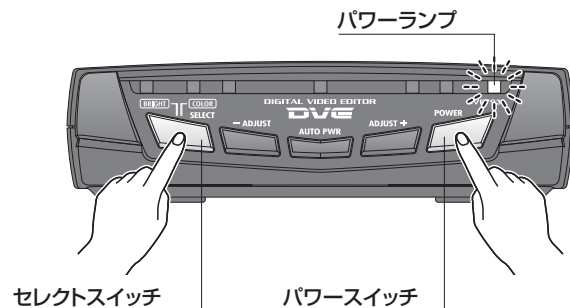
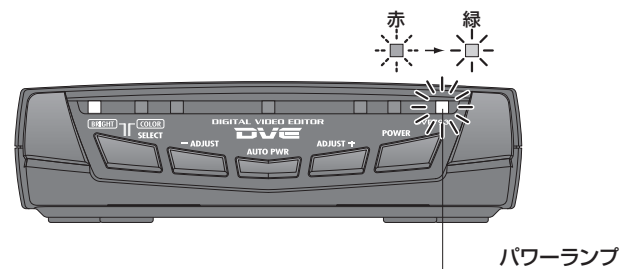
ONE POINT

●本機のカラーバーを表示させながら、本機で明るさや色あいを調整しても画質の変化を確認することはできません。明るさや色あいを調整する際は本機のカラーバーを表示させないでください。

工場出荷時の状態（初期値）に戻す

1. パワースイッチを押して電源を切る。（**6**ページをご参照ください）

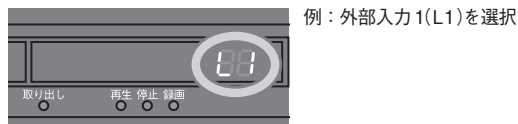
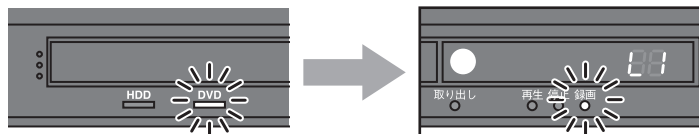
2. 電源が入っていない状態で、セレクトスイッチを押しながら３秒以上パワースイッチを押し続ける。

⚠ パワーランプが赤色で高速点滅します。この高速点滅中に操作を中止するとリセットされません。

3. パワーランプが緑色に点灯して電源が入るとともに、各種設定値がリセットされる。

ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する

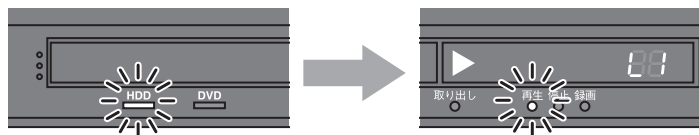
以下の方法はレコーダーの操作方法及びケーブルの接続が特殊になります。よってDVDレコーダー (DVDプレーヤー) を別途お持ちの場合は、**19** ～ **22**ページの接続方法によるご使用をお勧めします。

HDDから出力した映像を、本機を通して記録メディアに直接録画する場合

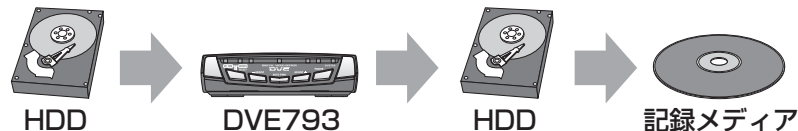
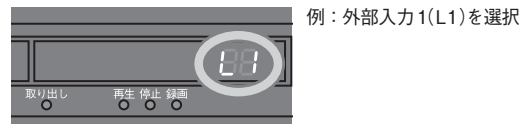
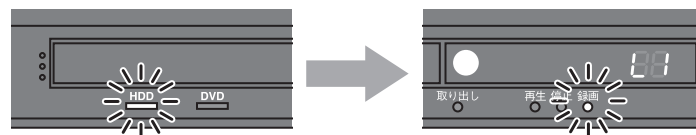
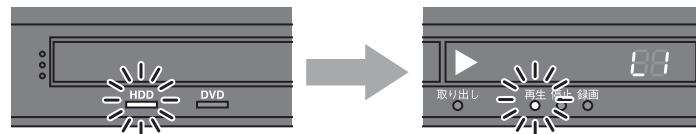
1. ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力（L1/L2 など）に切り替える。

例：外部入力1(L1)を選択

2. DVDを選択して、録画をスタートする。

3. HDDを選択して、番組一覧から録画したい番組を再生する。

ONE POINT

16ページ（右側のページ）をご参照ください。

HDDから出力した映像を、本機を通してHDDに再録画し、再録画した番組を記録メディアに録画する場合 （15ページの方法で録画できない場合にお試しください）

1. ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力（L1/L2 など）に切り替える。

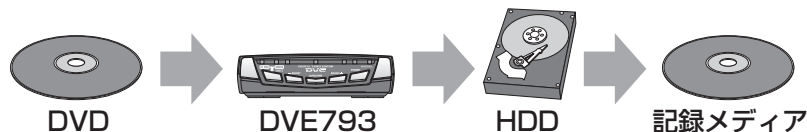
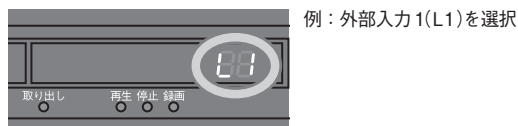
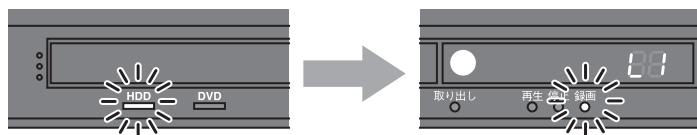
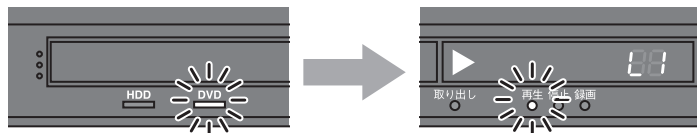
例：外部入力1(L1)を選択

2. HDDを選択して、録画をスタートする。

3. 番組一覧から録画したい番組を再生する。

4. 再録画した番組を、レコーダーの機能を使って通常通りダビングする。（本機は使用しない）

ONE POINT

●ハイブリッドレコーダーの接続方法は**25**ページをご参照ください。
●再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記（左記）方法は使用できません。
●上記（左記）方法により、番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
●外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
●「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。※外部入力による等倍速ダビングとなります。
●録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

DVDの再生映像をHDDに一度録画してからDVD-R/RW/RAMなどに録画する場合

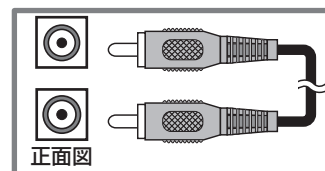
1. ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力(L1/L2 など)に切り替える。

例：外部入力1(L1)を選択

2. HDDを選択して、録画をスタートする。

3. DVDを選択して、DVDを再生する。

4. 録画した映像を、レコーダーの機能を使って通常通りダビングする。（本機は使用しない）

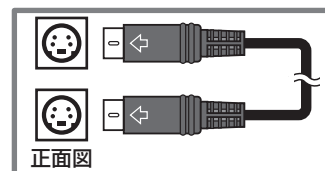
ONE POINT

- ●ハイブリッドレコーダーの接続方法は**25**ページをご参照ください。
- ●再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- ●外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ●「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ●録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが､本機の故障ではありません。

接続に使用する端子の種類

本製品と再生機器/録画機器を接続するために必要な端子例です。

ピン端子ケーブル　映像用（1 本同梱）

映像接続用のケーブルです。ピン端子を使用して接続する場合に使用します（1 本同梱されています）。

※市販品代用可

S端子ケーブル　映像用（別売品）

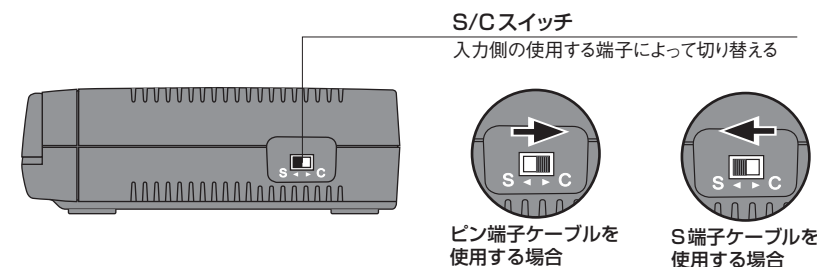
映像接続用のケーブルです。ピン端子に比べ、より高画質な映像を楽しめます。（必要に応じて別途お買い求めください）

※市販品代用可

スライドスイッチの設定

入力側にピン端子ケーブルを使用する場合はスライドスイッチを「C」に、S端子ケーブルを使用する場合は「S」に設定してください。工場出荷時は「C」側にセットされています。

S/Cスイッチ
入力側の使用する端子によって切り替える

ピン端子ケーブルを使用する場合

S端子ケーブルを使用する場合

⚠ S/Cスイッチの切り替えが正しくない場合､映像が出力されません。

出力を 1 系統のみ使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。

再生機器
左 白 右 赤 音声出力へ　音声入力へ 白 左 赤 右
映像出力へ　映像入力へ
S端子ケーブル（別売）
または
ピン端子ケーブル（同梱）
録画機器 1
録画機器は、外部入力に切り替えてください。
テレビ
録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

側面
S C
IN　OUT-1　OUT-2
コンセントへ
ACアダプター
：信号の流れ

別途用意するもの
- S 端子ケーブル ×1 本※
- 音声ケーブル ×1本

※出力する側も S 端子ケーブルを使用する場合は 2 本

※必ずS 側にしてください。C 側にすると映像が出力されません。

ONE POINT
●電源ON時、出力側はピン端子・S端子同時に映像が出力されます。

出力を 2 系統使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。

音声分配アダプター（同梱）
左 白 白 右 赤 赤
再生機器
音声出力へ　音声入力へ
S端子ケーブル（別売）
映像入力へ
白 左 赤 右
録画機器 1
テレビ
白 左 赤 右
録画機器 2
テレビ
映像出力へ
S端子ケーブル（別売）
映像入力へ
ピン端子ケーブル（同梱）
録画機器は、外部入力に切り替えてください。
録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

側面
S C
IN　OUT-1　OUT-2
コンセントへ
ACアダプター
：信号の流れ

別途用意するもの
- S 端子ケーブル ×2 本
- 音声ケーブル ×2 本

※必ずS 側にしてください。C 側にすると映像が出力されません。

ONE POINT
●電源ON時、出力側はピン端子・S端子同時に映像が出力されます。

入力側にピン端子ケーブルを使用して接続する

出力を 1 系統のみ使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。

別途用意するもの
- ピン端子ケーブル×１本
  または　S 端子ケーブル ×１本
- 音声ケーブル ×1本

※必ずC 側にしてください。
S 側にすると映像が出力されません。

ONE POINT

●電源ON時、出力側はピン端子・S端子同時に映像が出力されます。

出力を 2 系統使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。

音声分配アダプター（同梱）

左　右　白　赤

音声出力へ　音声入力へ

S 端子ケーブル（別売）

映像入力へ　映像出力へ

ピン端子ケーブル（同梱）　ピン端子ケーブル（別売）

再生機器

録画機器 1

録画機器 2

録画機器は、外部入力に切り替えてください。

テレビ

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

側面

S　C

IN　OUT-1OUT-2

コンセントへ

ACアダプター

：信号の流れ

別途用意するもの
- ピン端子ケーブル×１本
- S 端子ケーブル ×１本
- 音声ケーブル ×２本

※必ずC 側にしてください。
S 側にすると映像が出力されません。

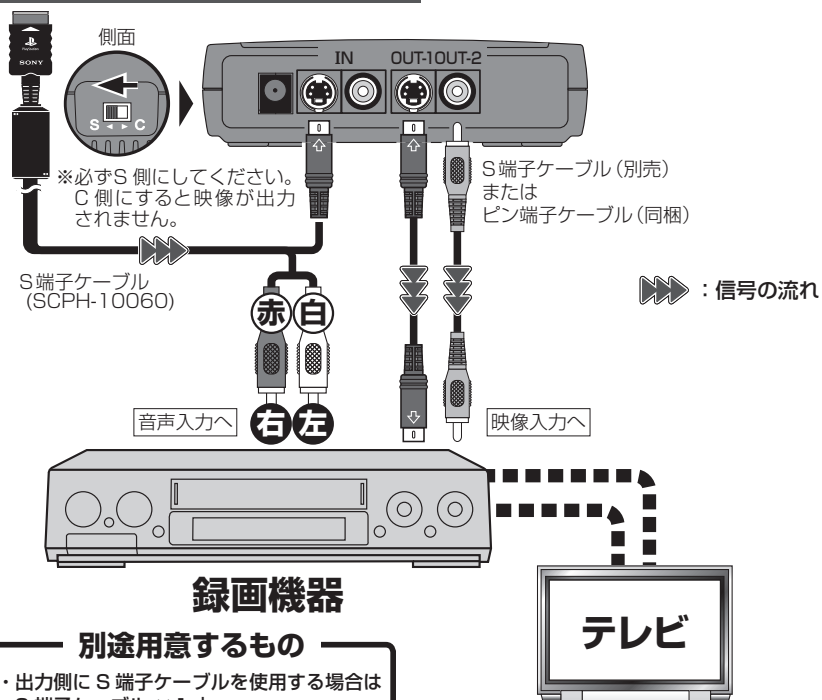
ONE POINT

●電源ON時、出力側はピン端子・S端子同時に映像が出力されます。

プレイステーション 2/3 との接続

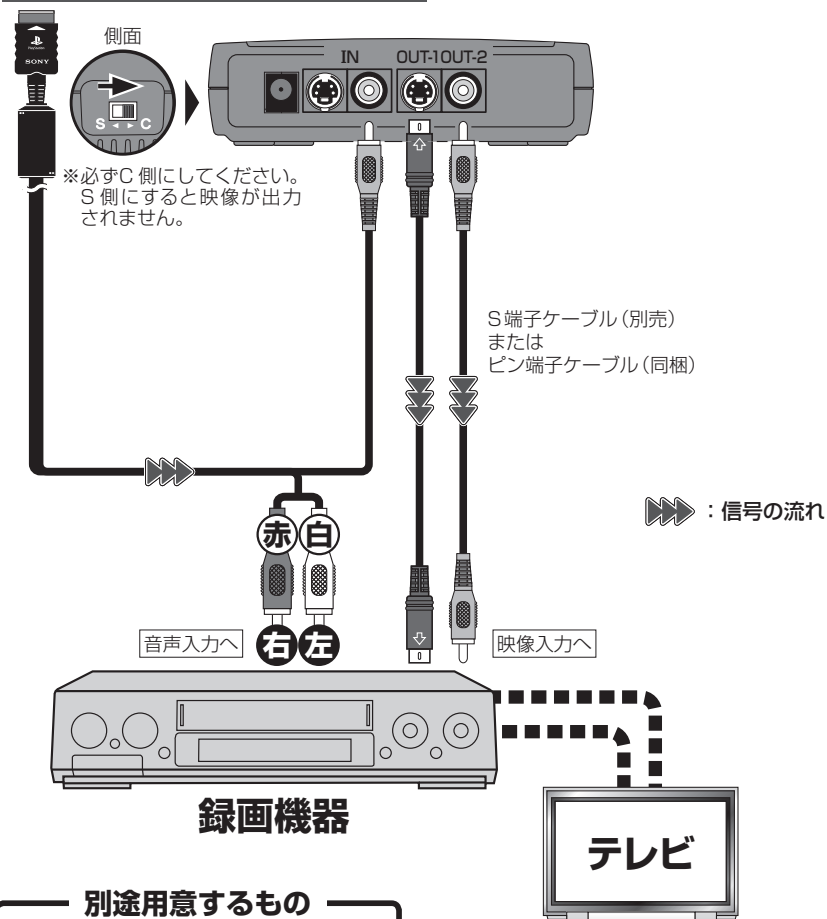
プレイステーション 2/3 を再生機器として使用できます。(株)ソニー･コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用するとより高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

⚠ プレイステーション 3 は映像出力がHDMI設定となっている場合、S端子・ピン端子ともに映像が出力されません。

S端子ケーブル(SCPH-10060)を使用する場合

別途用意するもの

- **出力側に S 端子ケーブルを使用する場合は S 端子ケーブル ×1 本**
- SCPH-10060 ×1本

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション 2/3 に付属のAVケーブルを使用する場合

別途用意するもの

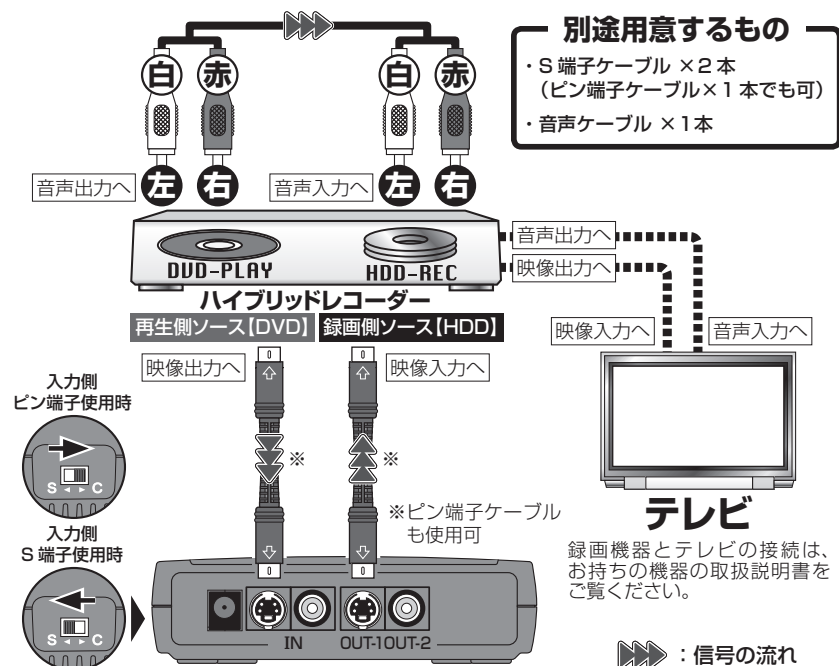
- **出力側に S 端子ケーブルを使用する場合は S 端子ケーブル ×1 本**

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

ハイブリッドレコーダーとの接続

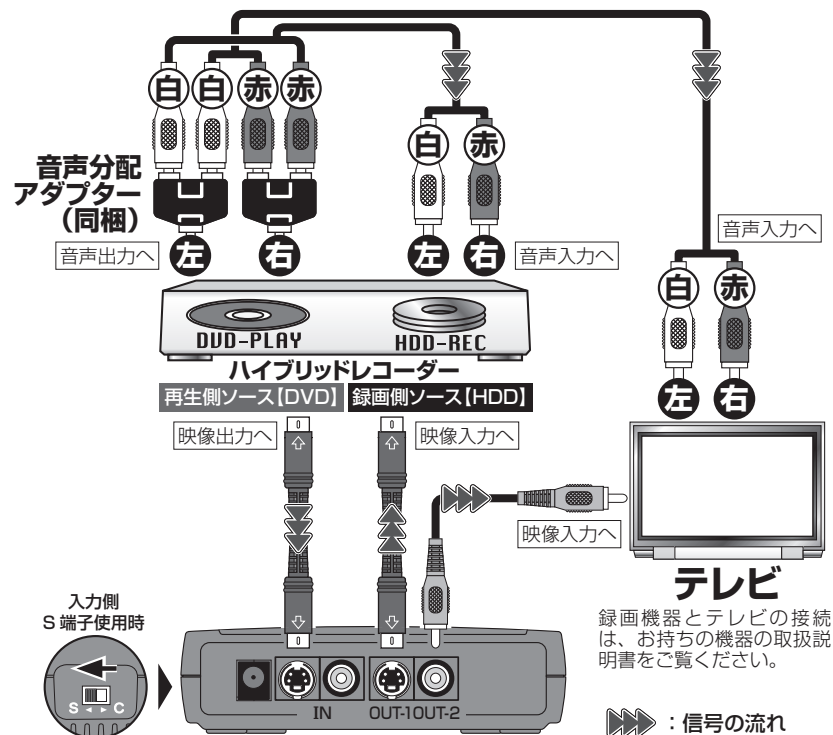
HDD&DVD一体型機 1 台のみでHDD→DVDやDVD→HDD、HDD→HDDなどの編集ができます。

レコーダーにAV出力が 2 系統以上装備されている場合

別途用意するもの
・S 端子ケーブル ×2 本（ピン端子ケーブル×1 本でも可）
・音声ケーブル ×1本

⚠ ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本機の回路を通した映像ではありません。

ハイブリッドレコーダーでの操作方法

詳しくは**15** ～ **17**ページをご参照ください。

レコーダーにAV出力が 1 系統のみ装備されている場合

別途用意するもの
・S 端子ケーブル ×2 本（ピン端子ケーブル×2 本でも可）　・音声ケーブル ×2 本

ONE POINT
●再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上（左）記接続による使用はできません。
●外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
●「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などは使用になれません。※外部入力による等倍速ダビングとなります。
●上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、再生をスタートした時点で治まります。

使用中のトラブルと回避方法

故障かな？…とお思いの時はアフターサービスをご依頼になる前に、つぎの点をお調べください

テレビ画面や映像

●映像が出力されない

・録画機を外部入力チャンネル（L1、L2 など）に設定していますか？
設定方法は録画機の取扱説明書をご参照ください。

・本体の電源ランプは緑になっていますか？赤の場合は電源オフの表示です。

・本機横のS/C スイッチは正しくセットしていますか？
入力側にピン端子ケーブルを使用する場合はスライドスイッチを「C」に、S 端子ケーブルを使用する場合は「S」に設定してください。工場出荷時は「C」側にセットされています。

・使用している映像ケーブルに断線、接続のゆるみはありませんか？

・一部のデッキでは、入力した映像が「セパレート信号（S 端子ケーブル使用時）」か「コンポジット信号（ピン端子ケーブル使用時）」かを手動で切り替える必要がある場合があります。その場合はデッキの取扱説明書を確認して正しくセットしてください。

・レコーダーの一部機種では、HDMI 端子やＤ端子（1080p）で接続していると、S 端子やピン端子から映像が出力されないことがあります。その場合は、レコーダー側の S 端子／ピン端子とテレビを直接接続し、映像が出力されるか確認してください。映像が出力されない場合は、レコーダー側の「映像出力設定」を変更するか、別の再生機をご用意ください。

上記方法でも出力されない場合は、30 ページの「映像が出力されない場合」の方法で接続を再度ご確認ください。

●映像に波がでる

・付属品以外のACアダプターを使用すると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

・1 つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続すると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。

・一部の接続機器（チューナーなど）との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

●画面下の映像が欠ける

・テレビによっては画面下部分が欠けることがありますが、映像処理上カットしてる仕様ですので故障ではありません。

●映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

・再生機器または録画機器の TBC 機能が ON になっていると発生する場合があります（TBC 機能を有する場合）。再生機器または録画機器の TBC 機能を OFF にしてください。

・再生機器または録画機器の DNR（デジタルノイズリダクション）機能が ON になっていると発生する場合があります（DNR 機能を有する場合）。再生機器または録画機器の DNR 機能を OFF にしてください。

●映像がブレるまたはゴーストが発生する

・再生機器または録画機器の DNR（デジタルノイズリダクション）機能が ON になっていると発生する場合があります（DNR 機能を有する場合）。再生機器または録画機器の DNR 機能を OFF にしてください。

●映像が一瞬途切れてしまうことがある

・録画機とテレビとの間に HDMI で接続されている場合、テレビの電源の ON ／ OFF 等で一瞬途切れることがあります。この場合は、編集時のみ HDMI を外して別の映像ケーブルに入れ替えてください。

●ビデオデッキ（アナログソース）側で一時停止やスロー再生（特殊効果）をおこなうと、乱れた映像が出力される

・アナログソース側で一時停止やコマ送り再生などの特殊効果を加えたものを、本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。

●ワイド映像（16：9）が縦長（4：3）に映る

・録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、録画機器の長時間記録モード使用時や、記録メディアの種類（CPRM 非対応の DVD-R 使用時など）によっては、ワイド識別信号が記録されない場合があります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご参照ください。

録画に関して

●DVD-RWには直接録画できるが、DVD-Rには直接録画ができない

・HDD 内蔵 DVD レコーダーの仕様によっては、特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。そのような場合は、一旦 HDD に録画してから HDD→DVD-R へ録画してください。なお、これは本機を使用したことによる症状ではありません。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

接続に関して

●音声分配アダプターが接続できない

・使用する機器によっては左右の音声出力端子へ音声分配アダプターが物理的に接続できない場合があります。その場合は、音声分配アダプターへ音声ピン端子ケーブルを接続して機器の音声出力へ接続してください。

電源

●電源が入らない

・AC アダプターがコンセントから外れていませんか？

●電源が切れない

・オートパワー機能を ON にした状態で再生機から映像を入力していませんか？

Q **映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには？**

A 本機のオートパワー機能を設定（**10**ページ参照)するか、または本機の電源を入れたままにしておきます。再生側から映像が入力されると同時に映像を出力します。

Q **レンタルビデオや経年劣化したビデオ（共にVHS）を編集する際の注意点は？**

A レンタルビデオは再生する頻度が高くテープ自体が劣化（傷んでいる）可能性がありますので、経年劣化したテープと同様、本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。

Q **レコーダーに内蔵された地デジチューナーの映像を、DVEを通して同じレコーダー内のHDDまたはDVDに録画することは可能ですか？**

A レコーダーの仕様上できません。レコーダーに内蔵された地デジチューナーの映像を、直接同レコーダー内に録画してから編集することは可能です。

Q **本製品に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？**

A 各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

Q **専用ケーブル DVE002 は使用できますか？**

A 使用できません。

Q **地デジ放送などの左右黒帯表示 (サイドパネル表示) をカットすることはできますか？**

A 映像の合成やカットなどの加工は一切できません。

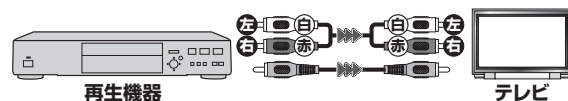
Q **本機を使用しないときは AC アダプターを外したほうが良いですか？**

A 長期間使用しない場合は AC アダプターを外しておいてください。通常の使用状況では AC アダプターを接続したまま電源を切っておいてください。詳しくは **5** ～ **6** ページをご参照ください。

映像が出力されない場合

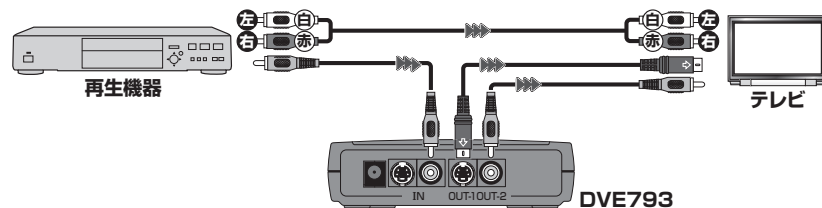
映像が出力されない場合（音声のみ出力される場合も含む）は下記方法で接続を確認してください。

確認 1. 再生機器（チューナーを含む）を直接テレビにピン端子またはＳ端子ケーブルで接続して映像が表示されますか？

（HDMIケーブルやＤ端子ケーブルで接続している場合は外してください。）

映像が表示されない場合
- ●ケーブルの接続を確認してください。
  再生機（チューナーを含む）側が出力、テレビ側が入力
- ●再生機（チューナー）の出力設定を確認してください。

上記でも映像が表示されない場合は機器のメーカーへお問合せください。

映像が表示される場合 **確認 2.** へ進んでください。

確認 2. 再生機器（チューナーを含む）→本機→テレビの順に接続し、映像が表示されますか？

映像が表示されない場合
- ●ケーブルの接続を確認してください。
  再生機(チューナーを含む）の出力→本機の入力、本機の出力→テレビの入力
- ●S/Cスイッチを確認してください（**18**ページ参照）。
- ●テレビの入力設定を確認してください。

上記でも映像が表示されない場合は本機の故障の可能性がありますので製品を当社へお送りください。

映像が表示される場合 **確認 3.** へ進んでください。

確認 3. 再生機器（チューナーを含む）→本機→録画機器→テレビの順に接続し、映像が表示されますか？（19ページ～参照）

映像が表示されない場合
- ●ケーブルの接続を確認してください。
  再生機（チューナーを含む）の出力→本機の入力、
  本機の出力→レコーダーの入力、レコーダーの出力→テレビの入力
- ●レコーダーの入力設定を確認してください。

上記でも映像が表示されない場合は機器（レコーダー）のメーカーへお問合せください。

PROSPEC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは

倉敷支社(月～金曜日 AM10:00～ PM12:00 PM1:00～ PM5:30 土日祝祭日を除く)
〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1509
※出張による修理や設置サービス等はおこなっていません。
※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

HomepageURL http://www.prospec.co.jp/

DVE793-1002-AN-KO-10500